

特別支援学校におけるテレビ会議システムを活用した授業改善



Keyword:

特別支援学校、テレビ会議システム（ICT）の活用、授業改善



教育科学系
特別支援教育講座 准教授

研究分野： 特別支援教育、ICT の利活用

小倉 靖範 (OGURA Yasunori)

<https://www.fuyou.aichi-edu.ac.jp> (愛知教育大学附属特別支援学校の HP)



研究概要

本学では、大学と附属学校園の連携強化を目的に、2020（令和 2）年度より、大学と附属特別支援学校を独自のネットワーク回線で結ぶテレビ会議システム（Panasonic 社：HD コム）を導入しました。そして、2022（令和 4）年度からは、複数台のタブレット端末（Apple 社：iPad）を用いて授業場面等を撮影し（写真①）、その映像を学内 Wi-Fi を使用してテレビ会議システム本体に送ることができるように機能を拡張しました（Panasonic 社：HD コムモバイル）。これにより、大学教員や学生が直接、学校を訪問することなく、大学においてリアルタイムで授業場면을視聴することが可能となりました（写真②）。このような環境が整備されたことを受け、更なる実践的活用として指導に当たる教師がワイヤレスイヤホンを着用し、コンサルタントとしての大学教員が適宜、助言を行うという方法（＝遠隔での「On-the-Job Training 型のコンサルテーション」）で授業改善に取り組み、その知見を蓄積してきています。



写真①：特別支援学校での動画撮影



写真②：大学での動画視聴

アピールポイント

本実践の意義は、テレビ会議システムが、単に物理的な距離や時間の制約を越えるだけでなく、コンサルタントが授業場面に直接介入しながらの授業改善を可能にしたことです。遠隔での「On-the-Job Training 型のコンサルテーション」によって、指導に当たる教師は、コンサルタントからの即時フィードバックを受けられ、授業の中で自身の教授行動を即時に修正できます。また、自身の教授行動の変化による児童生徒の行動変容をすぐに実感できるため、授業改善の手応えを感じ取りやすい等の成果を得ることもできました。このようなテレビ会議システムを活用した「On-the-Job Training 型のコンサルテーション」による授業改善は、GIGA スクール構想の時代を迎え、ICT の利活用という観点からも、今後の進展が期待される研究領域であると言えます。

お問合せ先



国立大学法人
愛知教育大学
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

財務・学術部 学術研究支援課 研究支援係
TEL：0566-26-2417
E-mail：renkei@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

